

令和8年度 岐阜県教育委員会教員育成協議会 議事概要

1 開催日時・場所

令和8年7月24日（金） 10：00～12：00

岐阜県総合教育センター 第1棟3階 第5研修室

2 協議事項

岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標（R7改訂）について等

【主な意見】

改訂された指標について

- 「働き方改革の推進」のため、校長の指標にいくつかの文言が加えられた。職員の労務管理の重要性を自覚することが必要だというメッセージが加わった。
- 教諭等の指標に「協働」や「専門性を発揮」等が加筆された。組織的な業務遂行の中での働きがいを実感につなげることを期待したい。
- 「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」の指標において、「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」がどのキャリアステージにも加筆された。全ての教員が特別支援教育について理解を深める時であり、重要な改訂であった。
- 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応については、担当者が一人で抱え込まず、関わる全ての教員が携わることにより充実していただきたい。

今後、改訂に向けて検討を要する内容について

- 「ICTや情報・教育データの利活用」の指標に関しては、再検討する時期にある。学校では、使うことを広めるという段階から、どのように活用するかという段階に移行してきている。また、ICT活用に少し寄っているような実態が見受けられる。データ利活用の視点にも目を向けられるようにするとよい。
- 養護教諭の指標にある内容に関して、初任であっても専門職として当然やるべきことが含まれている。一方、キャリアアップしながら身に付けるべきこともある。養護教諭の自己教育能力の向上のためにも分けて記した方がよい。

指標の活用状況について

- 教職員が自身の課題に気付き、目標を立てる際に指標を活用するとよい。校長は、人事面談時等に指標を参照するよう促し、誰もが指標を活用できるようにするとよい。
- 校長が「＜管理職向け＞研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の手引き」を参考にし、教職員に学び続けることの大切さを伝えていくことが望まれる。
- 指標は抽象度が高いため、各キャリアステージで求められていることを具体的に描くことが必要となる。各教職員が年度ごとに取り組むべき課題を設定し、主体的に学ぶためのツールとして指標を活用いただきたい。